

地域医療研修を終えて

豊橋市民病院

4週間、新城市民病院で地域医療研修の機会を賜り、誠にありがとうございました。

この地域医療研修では、これまで豊橋市民病院で当然のように行ってきたことを、相対的に捉えることができるような経験を日々させていただきました。

総合診療科での初診、再診外来では、必ずしも緊急性はないが、日々の生活週間から生じる疾患をその患者さんの生活背景まで伺い、対策を考え、実際に治療や指導を行い、再診で効果を確認するという流れを経験することができました。また患者さんの数がそれほど多くなかったこともあってか、横田先生からは「総合診療なんだから、時間を気にしすぎて聞き漏らしがないように」と、中村先生からは「ドアノブコメントで本当に患者さんが心配していることがあったりするから」とのアドバイスをいただき、実際に、主訴とは異なるより放っておくといずれ重篤な症状を来したり、現時点から介入できる疾患があることが明らかになったことが多々ありました。梅雨が明け、外来が立て込んでくると必ずしも同じ時間をかけられないかもしれませんが、新城市の中核病院の総合診療科として、私の所属している豊橋市民病院とは異なる面を経験させていただくことができました。

それでも、頻度は少ないですがたまに3次救急病院である豊橋市民病院にも来院されるような重症の患者さんがいらっしゃったことも何度かありました。上級医の先生方のその患者さんへの対応を横で拝見しながら、先の外来との違いも踏まえ、先生方の豊富な経験を感じ、身の引き締まる思いもいたしました。

入院患者さんは3週間近く担当させていただきましたが、身体に器質的な異常がどこにもないのにも関わらず、なかなか食事が摂れない方の治療に四苦八苦していると、多くの先生方がアドバイスをしてくださり、最後には院内食を完食できるまでに回復したことは、今後一生忘れることのないと思います。

毎日開かれる振り返りカンファレンスでも、上級医の先生方を中心に忌憚のない意見を下さり、どの症例のも手抜きのない姿勢や、また的確な指摘、アドバイスで、医学的知識はもちろんのこと、日々向上心を持って仕事に臨まれている先生方の姿勢に強く感銘を受けております。中村先生の「いくら勉強しても医学って深いなあ」と仰っていた言葉がいつも頭の中をこだましております。

熱い先生方に恵まれ、穏やかな新城の患者さんに学ばせていただき、コメディカルの方々、スタッフの方々はみなさん優しくして下さい、あっという間に過ぎていく、充実した地域医療研修を行うことができました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

